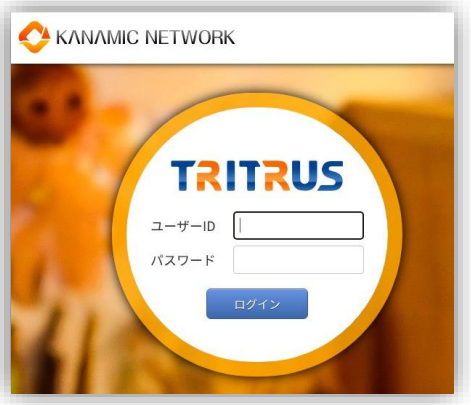
資料３

実施事業の状況について

※令和８年度の数値は、令和８年９月末現在の実績です。

まんでネット



指標：まんでネットの部屋の開設数　２８０部屋

	R5		R6		R7		R8	
	新規	延べ	新規	延べ	新規	延べ	新規	延べ
ID登録者数	18	724	57	781	37	818	14	821
部屋の開設数	2	270	7	277	5	282	3	285

まんでネットの部屋開設数は285部屋となり目標を達成し、ID登録者数も増加するなど利用の定着が進んでいる。今後は部屋を開設できる専門職の拡大を図るとともに、活用の質の向上を推進していく。また、個人情報漏洩やサイバー攻撃への懸念が高まる中、情報セキュリティ対策の徹底と適切な個人情報管理に務める必要がある。

多職種連携研修会

指標：多職種連携研修会　　８回



	R5		R6		R7		R8	
	回数	延べ	回数	延べ	回数	延べ	回数	延べ
多職種連携研修会	6	407	6	509	7	591	3	270

多職種連携研修会は、開催回数がR5・R6の6回からR7は7回へ増加し、延べ参加者数も407人から591人へ増加していることから、多職種間の連携強化や在宅医療・介護に関する理解促進が着実に進んでいる。

緩和基準型の訪問サービス（訪問型サービスA）利用者



指標：訪問サービス利用者　25人

	R5		R6		R7		R8	
	実人数	延べ	実人数	延べ	実人数	延べ	実人数	延べ
訪問サービス利用者	12	787	10	633	14	688	11	295

※訪問型サービスAとは、要支援1，2の人及び事業対象者（基本チェックリストを受けて生活機能の低下がみられた人）を利用対象者とし、シルバー人材センター等の登録会員（専門職以外）が訪問して、生活支援（調理・掃除・洗濯等）を行う事業のことです。

緩和基準型訪問サービス（訪問型サービスA）の利用者数は目標の25人には達していないものの、延べ利用回数はR6の633回からR7は688回へ増加しており、既存利用者の継続的な生活支援ニーズに対応できている。

生活支援体制整備事業の推進

指標：生活支援コーディネーターの配置　１７コミュニティ
　　協議体の設置　１７コミュニティ
　　助け合い事業実施　９コミュニティ

	R5	R6	R7	R8
生活支援コーディネーターの配置	16	17	17	17
協議体の設置	11	17	17	17
助け合い事業実施	7	7	7	7

生活支援コーディネーターの配置及び協議体の設置は目標である17コミュニティを達成している一方、助け合い事業の実施は7コミュニティにとどまっていることから、今後は協議体での話し合いを具体的な地域活動へつなげていくことが課題である。

地域ケア会議の推進

指標：地域ケア個別会議　１８回
　　地域ケア推進会議　　１回

	R5	R6	R7	R8
地域ケア個別会議 （困難事例）	6	4	5	4
地域ケア個別会議 （自立支援型地域ケア個別会議）	6 （１２件）	6 （１１件）	6 （１０件）	3 （６件）
地域ケア推進会議	1	1	1	0

地域ケア個別会議及び地域ケア推進会議は継続的に開催されているものの、開催回数は目標に達していないことから、今後も個別課題の検討を積み重ねるとともに、地域課題の抽出や施策への反映につなげていくことが重要である。

高齢者の移動支援



指標：高齢者の移動手段確保事業の実施　９コミュニティ

	R5	R6	R7	R8
高齢者の移動手段確保事業の実施	7	7	7	7
利用者数	6,063	6,700	7,115	3,003

実施しているコミュニティ：城北・城坤・川西・垂水・岡田・飯山南・飯山北

高齢者の移動手段確保事業は7コミュニティで継続して実施されており、利用者数もR5の6,063人からR7の7,115人へ増加していることから、外出支援のニーズに対応する地域の移動支援体制として定着が進んでいる。

認知症サポーター養成講座

指標：キッズサポーター養成講座　16回
　　ジュニアサポーター養成講座　6回
　　認知症サポーター数（累計）　22,000人



	R5		R6		R7		R8	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
小学生	16	1,121	15	970	15	969	8	442
中学生	6	969	4	877	5	942	1	141
一般	12	353	9	245	11	244	3	79
合計	34	2,443	28	2,092	49	2,155	12	662
サポーター累計	19,987		22,079		24,234		24,896	

認知症サポーター養成講座はキッズサポーター養成講座15回、ジュニアサポーター養成講座5回を実施し、累計サポーター数は24,234人と目標の22,000人を大きく上回っていることから、認知症への理解を広げる取組が着実に進んでいる。

認知症初期集中支援チーム活動



指標：初期集中支援チーム対応件数　　45件

	R5	R6	R7	R8
対象者	38	34	29	19
平均年齢	79.18	82.06	81.10	79.16
家庭訪問	129	97	75	37
１事例平均訪問回数	3.39	2.85	2.6	1.9
電話対応数	779	419	433	184
サポート医同伴訪問数	10	13	5	3
平均初動日数	16.7	14.7	14.7	13.7
チーム員会議数	29	20	15	9

認知症初期集中支援チーム活動状況	R5	R6	R7	R8
当該年度中に引継ぎ（支援終了）が行われた者	25	23	17	11
介入時に医療・介護サービスの両方に繋がっていなかった者	19	17	10	9
介入時に医療サービスに繋がっていなかった者	0	1	3	0
介入時に介護サービスに繋がっていなかった者	4	4	3	2
介入時に医療・介護サービスの両方に繋がっていた者	2	1	1	0
医療・介護サービスの両方に繋いだ者	11	8	8	3
医療サービスに繋いだ者（両方に繋いだ者除く）	6	4	4	1
介護サービスに繋いだ者（両方に繋いだ者を除く）	3	3	3	4
医療・介護サービスのいずれにも繋がらなかった者	5	8	2	3

認知症初期集中支援チームの対応件数は目標の45件には達していないものの、介入後に医療・介護サービスへつながった者が大半を占めており、早期支援による適切なサービス利用への橋渡し機能を果たしている。

認知症カフェ・介護支援講座



指標：認知症カフェ開催　　１７か所
　　介護支援講座　　６回

	R5	R6	R7	R8
認知症カフェ開催場所	15	17	16	16
認知症カフェ開催回数	169	188	182	77
認知症カフェ参加者	2,054	1,858	2,331	1,174
介護支援講座開催回数	6	5	6	0
介護支援講座参加者数	70	59	42	0

※10～11月開催予定

認知症カフェは16か所で継続的に開催されているが、今後は認知症本人や家族への支援機能の充実を図るなど、さらなる質の向上に取り組む必要がある。

権利擁護の推進

指標：		
	受任調整件数	１７件
	市民後見人候補者数	３３人
	市民後見人	８人
	日常生活自立支援事業利用者	６７人

	R5	R6	R7	R8
受任調整件数	7	9	6	5
市民後見人候補者数	23	22	38	34
市民後見人受任者数	3	3	2	3
日常生活自立支援事業利用者	59	66	58	64

市民後見人候補者数は目標の33人を上回る38人を確保していることから権利擁護の担い手の育成が進んでおり、今後は受任につながる支援や日常生活自立支援事業との連携を強化し、支援を必要とする高齢者が適切な権利擁護支援を受けられる体制づくりを進める必要がある。

高齢者虐待の防止



指標：虐待防止研修会　３回

	R5	R6	R7	R8
虐待防止研修会	3	3	3	1

	R5	R6	R7	R8
相談・対応件数	258	267	480	304
コア会議	31	32	34	13

虐待防止研修会は継続的に実施するとともに、相談・対応件数が増加していることから、高齢者虐待に関する相談や対応ニーズが高まっていることがうかがわれ、今後も関係機関との連携強化や早期発見・早期対応に向けた支援体制の充実が必要である。

一般介護予防事業



指標：フレイル予防教室開催回数　　350回

※指標で使用している『フレイル予防教室』という言葉は、市が主催するすべての体操教室を含む総称として用いています。

	R5		R6		R7		R8	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
フレイル予防教室	43	979	44	1,009	44	1,161	22	682
ころばんぞぉ～教室	43	1,751	45	2,059	44	2,011	22	1,112
介護予防のための体操教室	251	3,535	256	3,939	259	4,253	129	2,347
合計	337	6,265	345	7,007	347	7,425	173	4,141

一般介護予防事業は開催回数が347回と目標の350回に近い水準を維持し、参加者数も年々増加していることから、高齢者のフレイル予防や健康づくりの機会として定着しており、今後も地域づくりと連携しながら参加者の拡大と介護予防効果の向上を図る必要がある。

住民主体の通いの場の充実



指標：元気いっぱい！長生き体操実施場所　７４か所

	R5		R6		R7		R8	
	場所数	参加人数	場所数	参加人数	場所数	参加人数	場所数	参加人数
元気いっぱい！長生き体操	49	633	50	672	45	586	45	―

※年度末集計

元気いっぱい！長生き体操は45か所で実施され、参加人数は586人となっているものの、目標の74か所には達していないことから、既存会場の継続支援に加え、新たな通いの場の立ち上げ支援や担い手の確保を進め、住民主体の介護予防活動の充実を図る必要がある。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

個別的支援（ハイリスクアプローチ）

		R6		R7		R8	
		支援実人数	支援延人数	支援実人数	支援延人数	支援実人数	支援延人数
重症化予防	糖尿病性腎症	3	10	1	3	1	2
	その他の生活習慣病	53	74	134	236	90	90

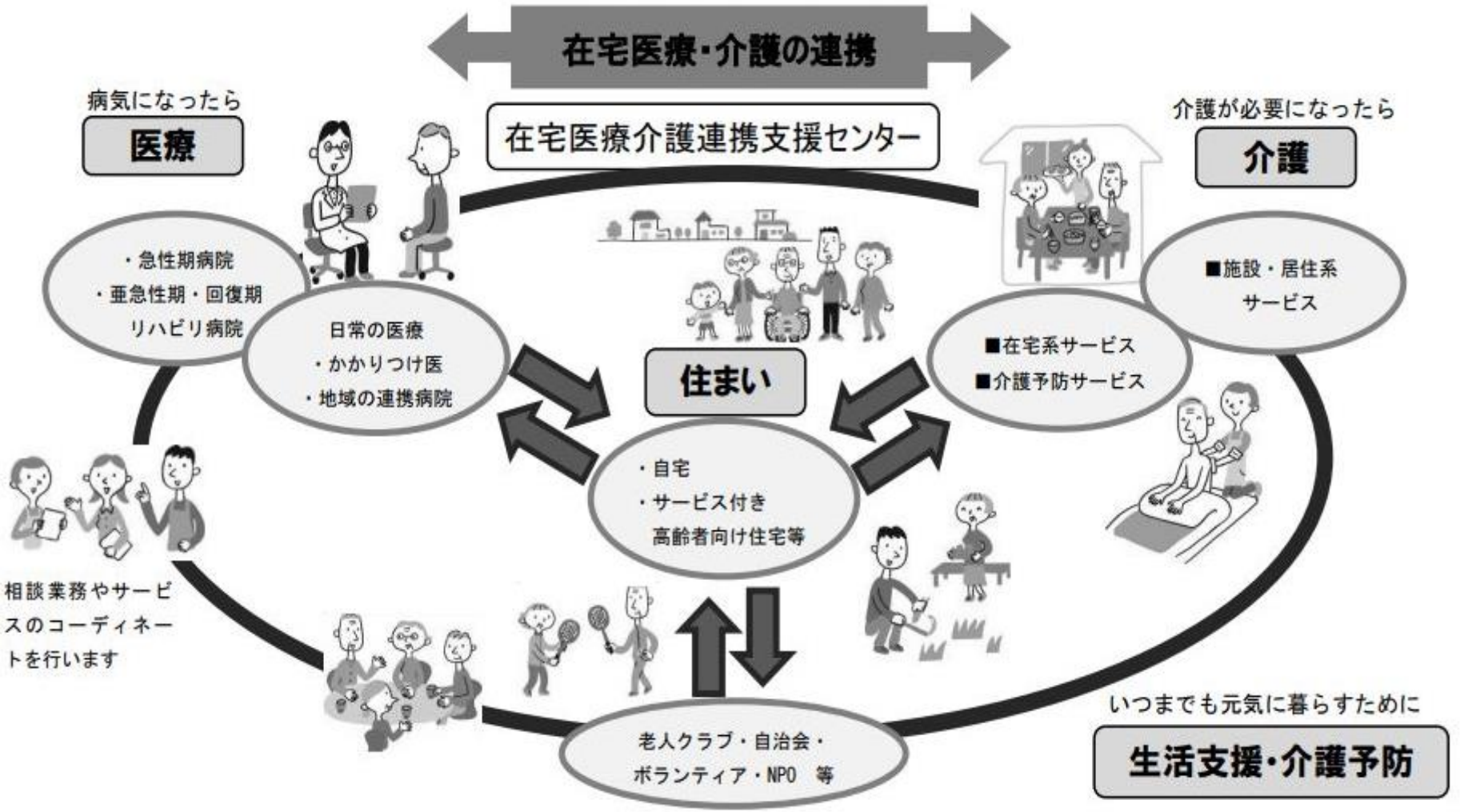
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

通いの場等への関与（ポピュレーションアプローチ）

	R6			R7			R8		
	通いの場数	回数	参加者数(延人数)	通いの場数	回数	参加者数(延人数)	通いの場数	回数	参加者数(延人数)
健康教育健康課題	4	19	260	38	50	672	16	26	358
フレイル状態把握	4	12	161	23	31	403	9	17	304

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施では、ハイリスク者への個別支援や通いの場への関与が大幅に増加しており、健康課題やフレイル状態の早期把握・重症化予防に向けた取組が着実に拡大している。

基本理念　「高齢者が生きがいを持って　安心して自分らしく生活できるまちづくり」



基本目標

①医療や介護が必要になっても、可能な限り在宅で生活できる体制づくり

②支援を要する高齢者を支える体制づくり

③認知症の人が自分らしく生活できる地域づくり

④地域づくりと連携した介護予防・健康づくりの推進